去年マリエンバートで（1960）

L’ANNEE DERNIERE A MARIENBAD
L’ANNO SCORSO A MARIENBAD ［伊］
LAST YEAR AT MARIENBAD ［米］
LAST YEAR IN MARIENBAD ［英］

メディア	映画
ジャンル	アート　ドラマ
製作国	フランス／イタリア
色彩	B&W
時間	94分
初公開日	1964/05/01
公開情報	東和＝ＡＴＧ
映倫	G
リバイバル	1983/07［フランス映画社］ 2010/02/27［紀伊国屋書店］ 2019/10/25［セテラ・インターナショナル］（４Ｋデジタル・リマスター版）

【解説】

アンチ・ロマンの旗手ロブ＝グリエが脚本を手がけた、観ている間は理解した気にさせて観終わって思い起こそうとするとまるで掴めなくなるという難物である。男が、整然とシンメトリックに設計された庭を持つ城館にまぎれこむ。そこでは社交界のお歴々が集まり、退屈なパーティに興じている。男は誰の気にもかけられずに館内を歩き回り、女を見つける。女とは去年に会っていた、マリエンバートで……。女にはその記憶がないが、男に迫られるうち、過去と現在の境が消えて、男の言うような記憶を作り上げていた。二人は愛し合い、一年の後、ここで会う約束をした、と。男にＧ・アルベルタッツィ、女に氷の美貌のＤ・セイリグ、驚嘆の巧緻なカメラは、最近ではグリーナウェイ作品でも完璧に無機的な映像設計を見せるサシャ・ヴィエルニ。フラッシュバックの幻惑は、監督レネの自家薬籠中のもの。ようこそ、狂うほどの醒めた白日夢の世界へ。

【クレジット】

監督	アラン・レネ	Alain Resnais
製作	ピエール・クーロー	
	レイモン・フロマン	Raymond Froment
脚本	アラン・ロブ＝グリエ	Alain Robbe-Grillet
撮影	サッシャ・ヴィエルニ	Sacha Vierny
音楽	フランシス・セイリグ	
出演	デルフィーヌ・セイリグ	Delphine Seyrig
	ジョルジョ・アルベルタッツィ	Giorgio Albertazzi
	サッシャ・ピトエフ	Sacha Pitoeff

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.